

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

訪問先	デロイトトーマツコンサルティング合同会社
訪問日時	2025年12月15日(月)
訪問概要・目的	デロイト様への訪問を通して、コンサルティング業界への理解を深める
担当 CVS	本田珠優、飯嶋遥介、大熊隼人、村松充希
報告書作成者	森田 昊士
参加学生数	19人(内、1年生12人、2年生7人)

訪問結果

本企業訪問では、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社を訪問し、コンサルティング業界の仕事内容や企業として大切にしている価値観についてお話を伺いました。参加した学生の多くがコンサルタントの仕事に明確なイメージを持っていない中で、業務内容や働き方を具体的に知る貴重な機会となりました。

デロイトは「Deloitte makes an impact that matters」という目標を掲げ、社会に良い影響を与えることを重視している企業です。Fairness to society、Innovation for clients、Talent of people という価値観のもと、世界中の社員が共通の意識を持って働いている点が印象的でした。

コンサルティング業務は、課題の提案を行う Advise、施策を導入する Implement、そして運用を支援する Operate という流れで進められていることを学びました。単なる提案にとどまらず、実行段階まで深く関わることで、クライアントとともに課題解決を目指している点に、コンサルタントとしての責任の大きさを感じました。

社員の方のお話からは、挑戦する姿勢や当たり前を疑う力、そしてチームワークを大切にすることが求められていることが伝わってきました。社内には質問しやすく、成長を支援する風土がある一方で、常に考え続ける厳しさもある仕事であると率直に語られ、仕事のやりがいと大変さの両面を知ることができました。

今回の企業訪問を通して、コンサルタントとして働くためには、デジタルや AI など新しい技術への関心に加え、基礎的な PC スキルやコミュニケーション能力が重要であることを学びました。本訪問で得た学びを、今後の大学生活や将来の進路を考える上で活かしていきたいと思います。